



基山町

議会だより

No.38

平成23年 第2回臨時議会・第2回定例議会

6
月
議
会

新議長挨拶・議会構成一覧	P 2
議案審議・第2回臨時議会	P 3
補正予算・委員会報告	P 4～5
12人 町政を問う	P 6～14
賛否表	P 15
定例議会の予定	P 16

新議長挨拶



基山町議会議長
後藤 信八

『町民の皆さんの傍聴で、活力ある議会に』

先の基山町議会議員選挙において、皆さんの信託を得て、13名の議員が誕生し、5月9日の初議会にて議長に選任されました。大役ですが私も含めて議員全員が常に町民の皆さんの目線にたつて、責任ある提案と行動をする議会をめざしていきます。

私たちの基山町もこの10年来の人口減と急速な高齢化で町勢が踊り場にきております。人口増対策などで積極的な事業が求められる一方で税収減などで難しい財政運営を強いられると思います。このことは私たち議員も常に厳しい判断を求められることになると思います。

そのために私たちは議会という場を通じて、町と対等な立場で町政の意思決定を行います。身近な予算の修正から、将来のあるべき姿まで、議員と町の執行部が十分な準備と正確な情報に基づいて、真剣に審議し議決の判断を下すのが本会議の議場であります。

是非とも一人でも多くの皆さんに議場で傍聴を頂きたいと思えます。皆さんの議会に対する関心が開かれた活力ある議会をつくり、もつと元気な基山町を実現できると考えます。皆さんの一層のご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。



基山町議会構成一覽

議員の任期は平成23年4月27日から
平成27年4月26日まで

正副議長		総務文教常任委員会		厚生産業常任委員会		議会運営委員会		広報編集委員会	
職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
議長	後藤 信八	委員長	鳥飼 勝美	委員長	品川 義則	委員長	重松 一徳	委員長	大山 勝代
副議長	林 博文	副委員長	片山 一儀	副委員長	重松 一徳	副委員長	品川 義則	副委員長	木村 照夫
		委員	松石 信男	委員	林 博文	委員	林 博文	委員	河野 保久
		〃	河野 保久	〃	大山 勝代	〃	松石 信男	〃	牧園 綾子
		〃	久保山義明	〃	木村 照夫	〃	鳥飼 勝美	〃	久保山義明
		〃	神前 輔行	〃	牧園 綾子	〃	久保山義明	〃	神前 輔行

主 議 案 審 議

平成23年度第2回定例議会は、6月10日開会し20日までの11日間行われた。「敬老祝金支給条例の一部を改正する条例」は、議会で賛成多数で可決し、その他の議案についても執行部提案どおり可決した。

基山町監査委員に太田博史氏を任命することに同意した。

敬老祝金支給条例の一部改正について

一部改正について

質問 現行の支給対象者（70歳、77歳、88歳、90歳、99歳及び100歳以上）を（77歳、88歳、100歳）に改正する理由は。

回答 支給年齢者の区分が細かく、他の市町村とも照らし合わせ、喜寿77歳、米寿88歳、鶴寿100歳の3段階にと考えた。

質問 一度否決された議案の再度提出の理由は。

回答 今の時代に即して子育て支援・高齢者福祉事業へ重点配分をさせていきたい。その具体的事業も提案している。

質問 具体的事業の内容は。

回答 インフルエンザ予防接種補助を増額し個人負担1000円を500円に、65歳以上の肺炎球菌ワクチン1回を2回にする。

一般会計補正予算

歳入・歳出の追加

（歳入）

九州電力(株)地役権設定

質問 設定で評価額が26%になつたのはなぜか。

回答 租税特別措置法の関係で25%以上と決まった。

質問 高圧電線が走っているが、地役権と補償の関係は。

回答 地役権設定は1回のみ。土地の所有者が変わっても権利が取得できる。地役権設定により地役権料が納付される。

（歳出）

鳥栖・基山

連携強化事業負担金

質問 連携強化事業の内容は。

回答 軽バイク（125cc以下）のナンバープレート

の金型を鳥栖市と共同で作る。

質問 効果はあるのか。

回答 鳥栖・基山のPRになり、共同で作ることによって負担が軽減される。

質問 事業としてどこまで広げるのか。

回答 デザインを同じにして軽バイク用1000枚を予定している。デザインは今後募集する。

下水道特別会計予算

歳入・歳出の追加

（歳出）

汚水処理施設基金繰入金

金

質問 汚水処理施設の修繕費の内容は。

回答 きやま台汚水処理施設取付管の老朽化による取替費用である。

第 2 回 臨 時 議 会

開催日
議 案

平成23年5月9日～11日

- 1 町議会議員改選後の議長等の選出（構成は右ページ）
- 2 専決処分

- (1) 国民健康保険条例の一部改正

出産一時金

35万円→39万円

国民健康保険税の課税限度額

73万円→77万円

- (2) 平成22年度一般会計補正予算

1億25万円を追加し、総額57億1,469万円に

歳入の主なもの

地方譲与税・地方交付税等

1億25万円

歳出の主なもの

減債基金積立金として

1億円

6月補正予算を可決しました

区 分	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計	7,648万円 追加	54億5,346万円
下 水 道 特 別 会 計	144万円 追加	1億5,570万円



九州電力(株)の送電線下の町有地(多目的運動場)に地役権が設定される。

これは、地方自治法の改正により、新たに、町有地に地役権設定が可能となり、九州電力が順次、地役権の設定を行なっている。

これにより、基山町に九州電力から、7200万円の地役権料が納付される。なお、この地役権料は、公共施設整備基金に積み立てられる。

送電線下の町有地に地役権を設定

総務文教常任委員会

(地役権料の内訳)
※土地の単価は、土地の鑑定価格の26%

場 所	面 積 (㎡)	単 価 (円/㎡)	金 額 (円)
多目的運動場	5005.07	13,000	65,065,910
けやき台 鉄塔付近	633.85	11,700	7,416,045
合 計	5,638.92		72,481,955

地震災害等により、勤務できない町職員に、7日以内の特別休暇

国の人事院規則の改正に伴う措置で、主に以下の内容

① 職員の現住所が滅失、損壊し、職員がその復旧作業等を行い、又は一時的に避難しているとき。

② 職員の同一世帯に属する者の生活に必要な水、食料等が著しく不足、職員以外にそれらの確保を行うことができないとき。

※この運用については今後運用基準を策定し、適正に運用する。

※7日の特別休暇には土、日、祝日を含む。



バイクのナンバープレートデザインのナンバープレートの変更

鳥栖市と基山町の連携強化の一環として、125cc以下のバイクのデザインが、鳥栖市と基山町で同じデザインとなる。今後デザインを公募して実施される。

一般会計のおもな補正内容

歳入

国庫補助（美しい森林づくり）	46万円
県補助金（魅力ある学校づくり）	14万円
九州電力 地役権設定	7,248万円

地役権とは、設定行為で定めた目的に従い、他人の土地を自己の土地の便益に供する権利をいう。今回の場合は、基山町の土地の上空を送電線が走るため地役権の設定がなされ、九電(株)から基山町に地役権料が補償されます。

寄付金（育英資金・ふるさと）	2万円
----------------	-----

歳出

特別旅費（被災地支援職員派遣）	50万円
公共施設整備基金	7,248万円
まちづくり推進審議会委員2名追加分	3万円
ご当地ナンバー型枠代・負担金	64万円
農業委員会委員選挙	94万円
老人憩の家 修繕費	103万円
敬老祝金	△433万円
下水道特別会計操出金	144万円

『敬老祝金』減額される

厚生産業常任委員会

町内の高齢者に支給している「敬老祝金」が見直され、現行の6段階（70歳、77歳、88歳、90歳、99歳、100歳以上）を3段階（77歳、88歳、100歳）にすることにいった。

委員会では子育て支援策への予算重点配分は理解できる政策ではあるが、高齢者対策充実を求め町長に委員会への出席を求め説明を受けた。

町長は、平成23年9月議会で新たな高齢者福祉政策を上程予定。その事業内容は、高齢者（65歳以上）インフルエンザ接種補助を拡大し、現行の自己負担1000円を500円にする。65歳以上の肺炎球菌ワクチン接種補助（3000円）を現行1回目だけを2回目まで行う、との説明を受けた。

また、町老人クラブ補助金を町老人クラブ連合会加入区（1・3・5・7・9・11区）に補助しているが、それ以外の区にも補助できるように、対応したいと説明を受けた。老人クラブ補助金を増額し、環境美化運動や健康増進活動への支援を今後とも充実するよう要望した。

高齢者福祉の

拠点新設計画を要望

「老人憩の家」修繕費103万円について、風呂場が白蟻の被害を受けているのでサッシに取り替えるとの説明を受けた。また更衣室の古くなったロッカー交換を10万円で行うとのことである。

老人憩の家は老朽化が進み、毎年修繕費等を計上していることを考慮し、新しい老人福祉の拠点となる温泉施設を備えた施設建設の計画をするよう要望した。

森林保全計画を策定せよ

「美しい森林づくり基盤整備補助金」46万円について、植林地の間伐9ヶ所、延べ3・89ha、作業道120mの国庫補助事業であるとの説明を受けた。

森林の荒廃を防ぐため、町は整備計画を策定し森林保全に努めるよう要望した。

下水道事業の会計方式を 企業会計方式へ

汚水処理施設は老朽化が進んでおり、毎年多額の修繕料がかかっている。

委員会では、今後、基山町の下水道事業の見直しが必要になってくるので、計画策定に関して従前の単年度会計方式を公営企業会計方式へ検討するよう要望した。



一般質問



12人
町政を



傍聴者160名(のべ人数)

電力不足に伴う保健センター・ 庁舎の対応及び節電対策について



木村 照夫 議員

東日本大地震の発生で福島第1原発事故を受け原発を巡る状況は大きく変化している。九州でも唐津玄海及び鹿児島川内の原発6基中3基が止まる事態で、定期点検休止中の原発が再運転不可の可能性がある。電力需要がピークを迎える夏場に電力不足の可能性が大である。計画停電の対応及び節電対策について問う。

質問 今年度の節電目標はいくらに設定しているか、及び節電の改善策は立案しているのか。

町長 節電目標は特段設定していないが、この夏の冷房目安としては、不快指数80以上で室温28度以上としている。また、昼休み等の不要な照明等の消灯の徹底を図っていきたい。庁舎南側にグリー

ンカーテンの設置も行う。又国の事業である公共施設省エネ・グリーン化推進事業を利用して庁舎内の蛍光管をLEDに取替工事を行っている。

質問 計画停電が実施された場合、町民への庁舎業務サービスの対応及び非常用予備電源確保についての考え方について。

町長 計画停電が実施されるかどうか現在のところではわからない。万一実施されたら、実施機関、実施時間帯など、その内容をみて検討する。

質問 保健センター・庁舎用にクリーンエネルギーの太陽光発電装置を設置する考えはないか。

町長 現在のところ考えていない。

町長 防災行政無線について

質問 開局後に難聴箇所の不具合対策箇所の改善はされたのか。

町長 地域・地形的な条

町内観光施設の来客人数(平成22年度)

施設名	来客人数
大興善寺	60,000人
基山草スキー	15,000人
御神幸祭	把握なし
園部くんち	把握なし
JRウオーキング	2,538人
その他観光施設	把握なし

町長 (左表)

質問 町内観光施設への観光客の人数はどのくらいか。

町長 計画停電があれば活用する。町民に早く周知したがよいと考えられる場合は、関係者と協議して活用する。

観光事業について

件により聞きにくい箇所が2箇所黒目牛地区・金丸地区があり、黒目牛地区については、平成23年度に改善する。また、基山町全体が山間部との地形条件により、こだまする現象により聞き取りにくいとの意見が多いため、ピンポイント地域による放送を実施している。

質問 今後の有効活用についてどういう事が考えられるか。

町長 計画停電があれば活用する。町民に早く周知したがよいと考えられる場合は、関係者と協議して活用する。

質問 JRウオーキングは好評でお客様が多いが、御神幸祭と同日開催は考えられないか。

町長 JRウオーキングは、大興善寺の春のつじ、秋の紅葉の時期に合わせて開催されており、基山町としても、観光振興の一環として協力している。御神幸祭との同日開催については、JR九州が主催のため協議の必要がある。現在のウオーキングは、観光行事の一つとして位置付けをしているので今のままでの開催をお願いしたい。

質問 町内外への観光宣伝PRはどのようにしているのか。

町長 昨年度作成した、基山町観光ガイドを配布している。JRウオーキング等のイベント毎に集中配布を行ったり、JR基山駅、基山パーキング等集客が見込める場所を中心に設置をお願いしている。また町外では、佐賀県関西中京営業本部、JR博多駅、西鉄高速バス営業所、鳥栖プレミアムアウトレット等に設置している。基山町HPでもPRしている。

第5次基山町総合計画は

片山 一儀 議員



質問 基山町総合計画の対象期間は10年だ。その根拠は。

町長 総合計画は長期的なもので10年位だと考える。

質問 時代の変化が速い現在、10年は長すぎる。第4次総合計画は多額の予算でコンサルに外注した。第5次総合計画も外注するのか。

町長 委託かどうかは決めてない。指摘もあり自ら作るかどうかも含め検討する。

質問 町長が説く協働の概念は。

町長 町民皆で考え協力して取り組むこと。

質問 第4次総合計画の策定は行政案もないゼロからの出発だった。行政

職員は公共サービスの創造・企画・実施が仕事ではないか。しかるに協働の名の下に、行政案も作成せずコンサルに委ねたのは、行政の任務放棄だ。町政運営の基本である総合計画の作成を外注するのは無責任では。

町長 委託・外注が本当にいけないのか。自分達で作ることが基本だとは思う。町職員は145名という少人数でやっている。コンサルに任せるのも理解して欲しい。

質問 基山町の現場を一番知っているのは町職員だ。総合計画作成室を立ち上げ自前で作ることが可能だ。

町長 総合計画は町職員の意向も入っている。コンサルに任せっぱなしでも丸投げでもない。

質問 通商国家として栄えたカルタゴという国が

あった。この国は滅びた。その理由をご存知か。

町長 詳しく知っているわけではないがローマに攻められて滅んだ。

質問 カルタゴが滅んだのは国家存続の基本である国防を傭兵に委ねたからだ。基山町も町政運営の基本となる総合計画を自ら作らずコンサルに委ねるようでは、町は衰退を招きかねない。

監査に関して

質問 監査委員は監査の結果を決定し報告をする義務を負う。報告を受けたことがあるか。

町長 出納検査、定期監査、決算審査、財政健全化法による審査等の報告を受けている。

質問 財政健全化法による検査と言われたが、町は財政健全化法に定める財務諸表を作成してない。

町長 その通りだ。

質問 町長が選任する監査委員を議会が選任するのは二元代表制の干犯ではないか。町長の主体性はあるか。

町長 議会からの提案もあってよい。

質問 監査委員は執行機関だ。議会に監査委員事務局をなぜ置くのか。

町長 疑義を感じていない。思慮が足りなかったと言われれば考える。

町史に関して

質問 基山町史は販売後に正誤表で9・6%を訂正。町史は商品価値がないのでは。

教育長 要修正点と要補足説明点があり正誤表の内容となった。

質問 補足説明が必要とは未完成品商品販売したのか。

教育長 結果はそうだと認識をしている。

質問 行政はサービス機関だ。町長は行政職員とデパート店員の同一視は心外であると答弁された。サービス提供者という視点では両者に差はない。町はサービスの基本精神を欠いていないか。

町長 行政とデパートを比べるのはいかがかなと思う。

議長交際費の公表 (平成23年度 4月～6月)

支出種別	支出年月日	支出金額	支出の相手方及び行事名等
御 祝	平成23年 4月14日	5,000	4/15 大興善寺つつじ園開園式
御 祝	平成23年 6月10日	3,940	5/26 基山モール商店街協同組合第31回通常総会
御 祝	平成23年 6月10日	5,000	6/12 第24回基山剣道祭
件数計	累計件数	計	累計額
3件	3件	13,940円	13,940円

けやき台に増加している買い物弱者への対策について

牧園 綾子 議員



質問 継続して利用するための方策を考えているか。

質問 現在、猪の浦児童公園で開催されている朝市の利用状況を具体的に示してほしい。

町長 来場者は正確に把握してないが、おおよそ次のようになっている。

開催日	出店数	来場者
2月13日	15	600
2月27日	16	600
3月13日	17	400
3月27日	15	200
4月10日	18	400
4月24日	18	200
5月8日	15	400
5月22日	16	300
平均	16	387

町長 一定期間、社会実験として実施する。(延長も含めて)

質問 別の形態の案に取り組む体制、住民を含めたネットワーク作りを考えているか。

町長 社会実験期間中に実行委員会を立ち上げて協議を行っていきたい。構成の形については、まだ考えていない。

図書館の環境整備は

質問 今の図書館はいつ建てられたのか。

教育長 昭和57年1月に竣工した。

火葬場の相互利用と利用料金の無料化を

重松 一徳 議員



2期目の議会活動も「発言と行動」には責任をもつてまいります。

鳥栖市と一体的まちづくりを進めては

質問 鳥栖市と新たに取組める広域行政は何か。

町長 鳥栖市と連携強化の事業を担当課で検討している。

質問 具体的事業として葬祭場の相互利用が出来るか。(基山町の火葬料は町内1万円・町外5万円。鳥栖市は市内無料・市外7万5千円。)連携して無料にできないか。

町長 相互利用とはならないが、緊急の場合など利用や料金を統一できないか、検討したい。

質問 車のご当地ナンバープレートを提案したら。

町長 今回軽バイクのご当地ナンバーの共同作成事業を取組み、鳥栖基山地域の一体感等の事業効果を見ながら乗用車まで取組めるか協議したい。

質問 鳥栖市と一体的な市民参加の取り組みが出来ないか。

町長 秋光川清掃ボランティア事業を合同開催する予定だ。住民交流の活性化目的で企画したい。

町有財産の有効活用を

質問 旧施設(旧役場・旧中央公民館・旧内山建設屋)の活用計画は。

町長 旧役場は旧内山建設屋の利用状況と併せて検討する。旧中央公民館は人口増対策として住居を主とした建設にしたい。

質問 旧内山建設屋の検討は進んでいるのか。

町長 庁内に利用検討チームを作っているが、まだ発表段階ではない。

質問 いつまでに検討するのか。

町長 年度内に利用計画を策定し、町民の意見を聞いていく。

質問 新たな図書館建設は策定段階で町民の声を保障すべきでは。

町長 検討委員会で検討しているが、難航している。町民の声は保障していきたい。

質問 庁舎の有効活用も検討する中で、庁舎一階へ図書館を持つてきては、という意見もある。参考にすべきでは。

町長 あらゆる検討をしていきたい。

質問 国道3号線東側(5・7・8・10・13区)に公共施設は何かあるか。

町長 町営住宅を除けば何も無い。



▲秋光川の清掃活動・草刈り

質問 公共トイレもない。せめて区民要望のトイレや運動広場をつくるべきでは。

町長 具体的には言えないが何かしらあってもいいかな、と思う。

要望 必要なのを造れ、とは言わない。要望を聞いてくれ。

東日本大震災を教訓にして

質問 災害時要援護者は何名か。

町長 203名で、避難支援者は157名。今後とも支援体制を強化していく。

質問 本棚に置けない本の管理は。

教育長 館内の書庫に6千冊程度、旧役場文書庫に1万2千冊程度保管してあり、必要がある時に入れ替え等をしている。

質問 現在、力を入れている取組は何かあるか。

教育長 館内児童書の充実、ひまわり教室等の学童保育施設への団体貸出し、7・8ヶ月児健康相談時のブックスタート事業など行っている。学校図書室への支援として、総合学習等の際に利用する図書資料の貸出しも実施している。

平成23年度臨時職員の募集について

質問 臨時職員の募集、緊急雇用対策による臨時職員の募集にどれだけ応募があったか。

町長 臨時職員の平成23年4月1日現在の応募数134人。緊急雇用対策

臨時職員の応募数24人。

質問 募集に際し、募集内容や人数はいつ、どのように決定されるのか。

町長 例年2月に広報にて臨時職員の募集をしている。応募者全員を臨時職員台帳に登録し、登録者が少ない場合に追加募集している。

採用に関して、一般事務は、必要に応じ連絡をとり雇用する。保育士・給食調理員・放課後児童クラブ指導員については、応募者全員を雇用し、4月以降シフト制の勤務とする。保健関係も応募者全員を雇用し、検診時の勤務とする。文化財発掘作業員は、経験者を優先して雇用する。学校関係は面接し、必要人員を雇用する。

緊急雇用対策臨時職員は国の交付金で実施しているの、県の許可後に募集。応募者全員と面接し、緊急に雇用が必要なる方を、優先的に雇用する。

「きやまん」推進を

基山町イメージキャラクター



神前 輔行 議員



私は新人議員として、感謝と決意を述べ次の5項目について一般質問を行いました。

「きやまん」について

質問 「きやまん」は現在住民にどれくらい浸透しているのか。

町長 本年3月31日に記者会見を行い、4月1日から公表しております。これまで、広報や議会日より、男女共同参画推進プラン、食育計画などで使用しており、徐々に浸透している。

質問 何のために公募したのか。

町長 町が行う事業等のPR効果を高め、町の良さや親しみをより身近に感じてもらえるよう公募した。

質問 地域アピールのためどのように活用しようと考えているか。

町長 当面は、町が作成する啓発資料や封筒などに活用して行く予定。

ふるさと応援寄付金について

質問 収支の開示を。

町長 現在までの収入は、約355万円。支出はない。

質問 「町長にまかすっばい」コースに寄付金が多く集まっているとのこと。町長の方から具体的なコースを提示した方がよいのではないかと。

町長 町長の政策的事業に使用させていただく事で寄付していただく事でありますので、貴重な財源として有効活用を図ってまいります。

スポーツ施設の整備について

質問 町営球場横のテニ

スコートが「風が強い」と多数声を聞く。防風ネットでの対応などできないか。

教育長 屋外でのスポーツということもあり、现阶段では対応は考えていない。



▲風が強いテニスコート

小学校の通学路整備について

質問 先日、鳥栖市で小学一年生の児童が交通事故にあい、尊い命が奪われた。通学路の交通量が多いため心配な箇所があるとの声がある。小学生の交通事故動態において、過去5年間の実態から新一年生が慣れてくる5月、6月が一番事故の多い季節であるとの統計が実際でている。そのこ

とに對しどのように考えているか。

教育長 基山小、若基小ともに日常のあらゆる事故防止のために各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間及び学校行事のなかで人命の尊さを自覚させ、事故防止に万全を期するよう指導している。

国民健康保険について

質問 高齢化率の高い基山では、医療費が全国的に見ても上位にある。都道府県別にみると、佐賀県は全国で2番目。佐賀県内の市町別にみても、高い地域にある。保険税の地域格差は結果、人口の流出にもつながる。そこで、国民健康保険税率の低い地域にするために、現在どのように対策を考えているか。

町長 全国的な傾向でもあるが、基山町においても人口の高齢化に伴い、医療費が年々増加している。これは人工透析などのように高額な医療が長期にわたるなど医療費増加の大きな要因のひとつになっている。

区長制度の見直しを

鳥飼 勝美 議員



いないが、今後の検討課題であると認識している。
公金の管理運用は、適正か

質問 基山町の公金（歳入歳出現金・基金（積立金）は、確実な金融機関への預金その他の最も確実で有利な方法で保管することになっている。平成23年3月末（以下「年度末」という。）現在の公金の管理運用状況は。

町長 基山町の全世帯の世帯数は何戸か。

町長 基山町の全世帯の10%の634世帯である。区長直轄の最も多い区では、30%を越すところもあり、区長の業務が多忙になってきている。自治会組織のあり方も含め、今後、検討していかなければならないと考えている。

質問 基山町の区長17名の地位と委嘱はどのようなものか（基山町の区長制度は、今から122年前の、明治22年に基山村が発足時、旧園部・宮浦・小倉・長野の各村に1人ずつの区長が設置されたのが始まりである。）。

町長 各行政区域内の推薦、又は選挙で決めた人に、町長が基山町の非常勤特別職の職員として、委嘱している。

質問 現在の区長制度の課題、問題点はなにか。

町長 町からの委託事務業務と、自治会業務との区分けに難しいところがある。

質問 住民の代表である自治会長に、町からの委嘱を受ける「区長」という肩書きがあると、区長は町長の下部組織となる。町長と自治会長が対等な関係とはなりえないので、町長が委嘱する区長制度を見直す考えはないのか。

町長 現時点では考えていないが、今後の検討課題であると認識している。

質問 基山町の区長17名の地位と委嘱はどのようなものか（基山町の区長制度は、今から122年前の、明治22年に基山村が発足時、旧園部・宮浦・小倉・長野の各村に1人ずつの区長が設置されたのが始まりである。）。

町長 各行政区域内の推薦、又は選挙で決めた人に、町長が基山町の非常勤特別職の職員として、委嘱している。

字によるもの。基金は2億48百万円の増で、減債基金（借入金返済のための基金）と公共施設整備基金への積立によるもの。

質問 ペイオフ（預金保護）解禁の対策はどのように実施しているのか。

町長 預金先金融機関の分散、預金債権と借入債務との相殺、安全な国債での運用を実施している。

質問 今後の公金管理運用の課題と問題点はなにか。

町長 金融情勢は先行き不透明な状況である。公金の安全性の確保を最重要課題とし、効率性を追求していく。

町長 6月に防災会議等を行い見直しに向けて検討する。

質問 危機管理における広報手段としてソーシャルメディアの活用と対応は。

町長 総務省などの推奨もありツイッター等の活用を検討する。

質問 建設資材納入遅延など過去最悪の経済情勢への対応は。

町長 独自の対策は考えていない。

東日本大震災に関する基山町の対応について

久保山義明 議員



要望 制度融資や入札方法の検討などきめ細やかな対応を。

質問 現在、有資格者である防災士は何人いるか。また、その役割はなにか。

町長 基山町が実施した独自の支援策はあるか。

町長 物資支援、義援金活動、県被災地派遣隊への職員派遣など。

質問 地域防災計画をすぐにも見直すべきだがその予定はあるか。

町長 6月に防災会議等を行い見直しに向けて検討する。

質問 危機管理における広報手段としてソーシャルメディアの活用と対応は。

町長 総務省などの推奨もありツイッター等の活用を検討する。

質問 建設資材納入遅延など過去最悪の経済情勢への対応は。

町長 独自の対策は考えていない。

町長 現時点では考えていないが、今後の検討課題であると認識している。

まちづくり基本条例について
質問 施行日以降の提案件数と対応件数を示せ。
町長 5月末現在、提案1件、要望7件で回答は5件である。
質問 協働は、組織対組織。参加は、個人が自主的に組織に関わることと認識しているが町長の考えは。

使い勝手のよい 循環バスの運行を

大山 勝代 議員



町長 もう少し検討したい。検討委員会でも出したい。

質問 循環バスの年間利用者数を示せ。

町長 平成22年度は12494人の利用である。

質問 3路線別の利用者はそれぞれ何人か。

町長 園部線が3074人、けやき台・宮浦線が5119人、小倉・長野線が3476人。

質問 利用者の要望で、「前のバスに乗り、買い物済ませて次のバスに乗るには20分しかないの、発車時刻を10分ずらしてほしい。」と言われているが、変更できないか。

質問 運行改善のために「循環バス検討委員会」を早期に開催し、その中に利用者代表を入れてほしい。

町長 利用者の要望は別のところで十分にききたい。

質問 今の時刻表は見にくくて、分かりにくい。ていねいなものを作成してほしい。

町長 十分検討して、分かりやすい時刻表を作りたい。

質問 バスを2台に増やしたとき、町の財政負担はいくらになるか。

町長 今の委託料のまま

だと2倍になるので、1240万円。

質問 有料にして1000円・2000円のと、利用者増を見込んで負担の試算はいくらになるか。

町長 1000円で利用者数1・5倍として、1059万円。2000円で1・15倍として、966万円になる。

質問 バスを2台に増やす決断はできないか。

町長 いろいろな角度から、今後担当課と検討していきたい。

早急な保育料の引き下げを

質問 3月議会で引き下げの質問に対して、「検討したい」と前向きな回答をいただいた。実施時期はいつか。

町長 平成24年度から実施する方向で検討している。

要望

- ・乳児の区分をなくしてほしい。

- ・今の鳥栖市より低い料金の区分は値上げしないほしい。
- ・所得税額の高い家庭も一律打ち切りを。



▲利用が多い宮浦・けやき台線

町長 基山町では、個人対組織の協働もあり得ると思う。

質問 協働のまちづくり推進委託事業の評価は。

町長 職員の不安、戸惑いが先行したが、昨年度は少し進んだ。

要望 職員研修に偏ることなく本格的な町民への説明を。

夏休みの児童保育

質問 開館前に待っている子どもがいる。開館時間を8時に出来ないか。

町長 昨年度、時間延長を行ったばかりで現在は考えていない。

町有地の有効活用

質問 旧建設会社跡地の役場別館の補修費はいくらか。利活用をどう考えるか。

町長 雨漏り補修、下水道工事を含めて573万円を支出。利活用は再利用検討チームで研究中。

質問 旧中央公民館、旧役場跡地の活用は。

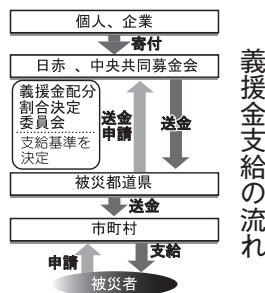
町長 役場別館と併せて検討する。旧中央公民館跡地の活用は人口増対策として住居を主とした建設を中心に進めたい。



▲人口増対策の活用検討がされている旧中央公民館跡

東日本大震災へ 町からの被災地への支援は

林 博文 議員



去る3月11日、発生した東日本大震災により亡くなられた、多くの方々のご冥福をお祈りするとともに被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

質問 町は被災地への支援に、どのように取り組まれているか。

町長 義援金は、1003万7106円（5月31日現在）、支援物資の最終数量は、延べ426名の方から、毛布752枚、オムツ560枚、タオル263枚、衣類577枚、シート17枚、マスク105枚（4月8日で終了）。人的支援として、佐賀県被災地派遣隊の一員として3名、組合団体からの派遣1名、佐賀県支援本部に1名を派遣している。今後も支援を続けていきたい。

質問 震災の復興支援として、佐賀県と20市町が発行する、義援金付きプレミアム商品券の概要は。

町長 震災の復興支援と県内消費の喚起を促す、佐賀県が主体の事業。商工会等が行うプレミアム商品券110000円分を、消費者からの義援金として1000円をつけて、10100円で販売し、県と町がプレミアム部分10000円を負担する。そして、事業者は売り上げの中から義援金として1000円寄付する仕組みです。その結果、消費者と事業者が各1000円負担し、2000円の義援金を出す仕組み。

災害に強いまちづくりへ 消防職員を増やせ

松石 信男 議員



質問 3月11日に発生した東日本大震災での福島第一原発の事故では安全な原発などがあり得ないことがハッキリとした。原子力行政の根本的な見直しが必要だ。

町長 経済優先の陰で安全性がおろそかになっていた。原発の恐ろしさについて考え直して行かねばならない。

質問 基山町では土石流の危険渓流55箇所の中に237軒、急傾斜地崩壊危険地域98箇所の中に132軒の家があるが対策はどうしているのか。

町長 防災マップで危険個所の認識を持つてもらっていると思うが、避難体制を含め周知をはかる。

質問 災害時要援護者の登録者が対象者5067人の内203人と少ない。登録者を増やす対策はどうしているのか。

町長 民生委員、区長等で進めているが、増やすために周知徹底を図る。社協の「見守り隊」でも平時から行っている。

消防職員は国の基準の56・7%

質問 鳥栖三養基地区消防職員が国の基準233人に対し132人。充足率56・7%と大変少ない。この人数では町民の安全安心は保てない。

町長 消防力の整備指針では185人だが、職員を増やすためには予算措置が必要であり、広域団体との協議が必要になる。

学校の冷房化推進を

質問 近年35度を超える猛暑日が増えており、冷房施設のない教室ではもはや子どもたちが学習できる環境にない。小中学校に扇風機を付けて欲しいとの保護者の声があるが、県内で空調設備のある学校はどこか。

教育長 校長室、職員室、保健室、図書室、パソコン室、会議室である。
質問 県内の学校が熱中症や受験対策ということとで設置してきている。みやき町は今年度に予算を計上し、平成26年度まで全小中学校に設置する計画だ。基山町でも中学校から計画的な設置を求めている。

教育長 本当に暑いのは1ヶ月ぐらいなのでできないことはない。これらの課題としてキチンと認識していきたい。

質問 基山小・中学校で冷房を設置している教室はどこか。

他に図書館建設、学童保育の6年生までの受け入れなど質問しました。



▲昨年の大雨による崖崩れ跡

質問 商品券の発行に伴い、県と市町村が助成する金額は、県内市町で46万セット、総額50億円の発売予定とのことであるが。

町長 商品券発行の事務費は全額県負担で、プレミアム部分は半分ずつ県と町が、負担することとなる。

県道17号線沿線開発について

質問 この旧有料道路は平成19年、5月9日より通行無料になり、県境の料金所跡地、及び建物が4年も経過した今も、そのままになっているが、周辺の開発又、計画はどうなっているのか。

町長 料金所等の跡地は、佐賀県の所有のため、県との協議が必要になる。

質問 道路沿線の経済効果を高めるために乗り入れ口をつくり、企業誘致やサービス業出店、外食産業等の新設は出来ないか。

町長 沿線は、市街化調整区域であり、開発が抑制される地域である。しかし、開発行為による許可を取得できれば、道路管理者である佐賀県との

協議により申請手続きが必要となると考えられる。

要望 単なる町内の道路としての通過ではなく町が積極的に開発計画をし町の活性化に取り組みむべきと思う。

その他の質問

・都市計画道路として町が未着工地域は何路線か。

・基山PAにスマートインター（ETC）専用の乗り入れ口の設置を早急に計画しては。

・長崎街道物語開発計画に町は協力を。

・平成23年度支給の子ども手当の実施と、今後の見通しは。



▲バイパスの料金所跡地

けやき台中央通りの通り抜けについて

河野 保久 議員



道路行政について

質問 基本的な考え方を示せ。

町長 緊急性、必要性、優先性、公共性、将来性及び費用対効果を考慮し、財政的な問題を十分勘案して進めなければならぬと考える。

質問 計画策定前に、住民の意思確認は必要と考えるか。

町長 従来は計画が先であったが、今後は事前の了解、納得を得ることも必要と考える。

けやき台中央通りの通り抜けについて

質問 町の基本的な考えは「国道3号線が4車線となり、筑紫野有料道路が無料になったら、住民の意見を聞いたうえで決

定する」と認識しているが間違いないか。

町長 基本的には変わっていない。

質問 現在までの経過を詳細に示せ。

町長 平成18年に地区懇談会にて基本的な考えを説明、21年3月議会の当初予算で測量設計業務委託料の予算措置を行い、6月議会で町道路線の廃止及び認定をし、9月に若基小にて説明会を開催、12月議会で先送りを表明し、22年3月議会で測量設計業務委託料の更正を行った。

質問 12月議会で先送りを表明した理由を示せ。

町長 説明の仕方がまずかったこと、住民の合意形成が出来ていないし、理解も得られていないと感じたことが大きな理由である。

質問 取り組みの上での反省点を示せ（説明会のやり方等多々あると考え

る）。

町長 平成18年の地区懇談会開催後、平成21年3月議会の当初予算で測量設計業務委託料を予算措置するまでの間、説明会をしなかったことが反省点である。

質問 今後どのように進めていくお考えか。

町長 現段階では先送りという考えなので、慎重に対応しなければと考える。

要望 今回の結果は、町側のミスリードと考える。反省した点を道路行政だけでなく、他の行政にも活かしていただくことを要望する。



▲通称 けやき台中央通り

教育行政について

質問 町の教育に対する基本方針は策定しているのか。

教育長 年度ごとに基山町教育の基本方針を策定している。

質問 学校教育で学力の向上の他に重きを置いていることはあるか。

教育長 「生きる力」の育成を、学校教育の全領域において取り組んでいる。その他キャリア教育、小学校においては英語活動に力をいれている。

質問 町民会館及び体育施設の指定管理制度を導入し3年目を迎えている。導入して2年間の評価・総括、及び今後の課題を示せ。

教育長 外部による評価でも適正な処理・運営がなされていると考える。管理者による主催事業の積極的な実施が、利用促進と活性化、利用者の拡大を図る上での課題と考える。

その他の質問

・青少年育成町民会議の独自の事業展開について
・町民体育大会のマンネリ化の打開策について

基山町が鳥栖市と合併？

品川 義則 議員



質問 町長は合併についてどう考えているのか。

町長 市町村合併というものは、様々な乗り越えるべき課題があると思うが、大事なことは民意である。大方の両市町の民意が合併することになれば、その期待に応えるのが行政の役割だ。

質問 鳥栖市と防犯パトロールや避難場所の相互利用、今回の軽バイクのご当地ナンバーなどの連携事業の目的は何か。

町長 平成20年4月に「鳥栖基山地域ビジョン検討委員会」を設置、12

月に「連携」と「協調」をテーマとしたビジョンを提言した。この提言にある「一体感向上のまちづくり」を実現し、住民にとって、サービス向上につながる取り組みを実践することが目的だ。

質問 鳥栖市との地域ビジョン連携事業は合併を視野に入れた事業なのか。

町長 合併のための連携強化ではない。また、私自身が積極的に旗振り役をやるつもりはない。

質問 民意が大事であるならば、以前行われていた「町長と語る会」を開催してはどうか。

町長 いずれやりたいと

思っている。

住宅用太陽光発電に補助金を

質問 佐賀県新エネルギー・省エネルギー促進条例や住宅用太陽光発電促進に対して基山町は取り組んでいるのか。

町長 基山小の太陽光発電設置、エコ自動車の公用車購入、防犯灯・庁舎内LED化をしている。

質問 学校の教室には空調設備はないので、太陽光発電を利用して学びやすい環境を作れないか。また県が行っている住宅補助事業にも取り組めないか。

町長 自然エネルギーの観点からも検討すべき、国の政策を見極め、県の住宅リフォーム補助等も考慮し検討していく。

図書館建設に町民の声を

質問 図書館建設検討委

員会の設置はいつ頃か。

教育長 今、庁内でたたき台を検討している段階だ。

質問 前回の検討委員会で問題となった庁舎西側の図書館等建設用地も候補とするのか。

教育長 候補地の対象になる。

質問 教育長は町民が望む図書館とはどんな施設が良いと考えているのか。

教育長 公立図書館は、自治体文化のバロメーターだと思っている。図書館は単に本や資料が置かれた場所ではなく、町民が知的交流をする場、想像の芽を育てる場であってはならない。地域に根差した利用頻度の高い施設にするために、町民の考えを十分に反映したい。

意見書の結果

今定例会に受理された意見書は6件で、5件採択になった。

津波対策推進法案の早期成立を求める意見書	採択（全員賛成）
当面の電力需給対策に関する意見書	採択（全員賛成）
震災からの復興に向けた補正予算の早期編成を求める意見書	採択（全員賛成）
原子力発電所の安全対策の強化等を求める意見書	採択（全員賛成）
義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	採択（全員賛成）
原発行政のあり方と玄海原発の安全対策に関する意見書	不採択（賛成少数）

平成23年 第2回臨時議会・第2回定例議会議案賛否表

区分	議案	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			神前輔行	久保山義明	牧蘭綾子	木村照夫	河野保久	重松一徳	鳥飼勝美	大山勝代	片山一儀	品川義則	林博文	松石信男
第2回臨時議会	監査委員の選任について	同意	無記名投票による採決											
	基山町教育委員会教育委員の任命について	同意	無記名投票による採決											
	専決処分の承認を求めることについて（基山町国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて（平成22年度基山町一般会計補正予算（第9号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回定例議会	基山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	基山町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基山町税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	基山町敬老祝金支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×
	基山町監査委員の任命について	同意	無記名投票による採決											
	町道の路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	佐賀県市町総合事務組合理約の変更に係る協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度基山町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×
	平成23年度基山町下水道特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成23年9月 「定例議会の予定」

傍聴どうぞ!!
車椅子席もあります

開会日は9日(金)、
一般質問は12日(月)・13日(火)・14日(水)、議案審議は14日(水)からの予定です。

議会運営委員会

基山町議会の審議の充実や円滑な議会運営のため議会運営委員会は調査研究を行っています。

基山町は行財政改革の一環として経費削減に取り組んでおり、また、地球温暖化防止の目的を持って、6月議会では出席者のクールビズ(上着なし、ノーネクタイ)、出入口扉の開放、照明の省力を実施しました。

今回は特に多くの方に議会傍聴に来ていただき、傍聴席が不足する大盛況に感激したところです。

今後とも町民の皆様と共に歩む基山町議会として活動が続けなければなりません。



編集後記

表紙写真を募集します

4月の町議会議員の改選後、13名の議員が誕生しました。広報委員も新たに下の6名が作成することになりました。どうぞよろしく願います。

編集の基本方針としては、町民と共にある議会だよりになるように努めることです。

・定例議会後なるべく早く発行します。(今回は8月1日になりましたが)

・町民の方の意見・感想・要望を掲載します。議会事務局までお寄せください。(議会傍聴記も復活・随時)

・議会だよりの表紙写真を提供してください。(基山の季節だより・町や地区の行事・子どもの日常など)

議会の活動の様子をより分かりやすくお伝えできるよう編集に努めます。一人でも多くの町民の皆さんに読んで頂けると幸いです。これまで同様ご愛読をお願いします。



広報編集委員会

大山 勝代 委員長
河野 保久 委員
久保山義明 委員

木村 照夫 副委員長
牧蘭 綾子 委員
神前 輔行 委員